

Rotary

Yachiyo



Imagine
ロータリー

2022-23 年度国際ロータリーテーマ

「イマジン ロータリー」

2022-23 年度クラブテーマ

「ロータリーを学び、語り、

奉仕を実践していこう。“Think”」

週報 第2698回

2023年5月12日

八千代ロータリークラブ CLUB NO.15070

今回例会行事

テーマ：弁護士よもやま話（刑事編・後半）

担当：青少年奉仕委員会

卓話者：菊川秀明会員

次回例会

5月26日

担当：職業年奉仕委員会

5月18～19日 親睦旅行

テーマ：二宮尊徳こと二宮金次郎は。

卓話者：日下部良夫会員

◆◆◆◆◆第2697例会◆◆◆◆◆

司会 中島貞好

「それでこそロータリー」

会長挨拶

会長 杉 昰

皆さん、こんにちは。

この1週間のニュース

・2056年に人口1億人割れ 70年に3割減の8700万人。4/26 国立社会保障・人口問題研究所は、長期的な日本の人口を予測した「将来推計人口」を公表した。2056年に人口が1億人を下回り、59年には日本人の出生数が50万人を割る。人口規模を保てなければ国力は縮みかねない。人口減社会でも経済成長の維持を目指す施策を急ぐ時期にさしかかっている。生産性向上が待ったなしです。

・米国、韓国に戦略原子力潜水艦を派遣首脳会談が開始。バイデン米大統領は26日、ホワイトハウスで韓国の尹錫悦(ユン・ソンニョル)大統領と会談した。米軍が核兵器を搭載できる戦略原子力潜水艦を韓国に派遣することで合意する。核抑止の強化に向けた新たな協議体も創設する。米国による韓国防衛への関与を鮮明にし、北朝鮮が核を使えば「いかなる政権でも終焉につながる」と話した。

さて、前回の会長挨拶では人間力を高め

る「貞觀政要」の概要及び時代を超えて現代にも有用であることをお話ししました。それゆえに中国の唐はもちろん歴代王朝の君主たちや、日本の北条家、足利家、徳川家にも愛読されおり、その有用性がわかります。明治天皇も侍講の進講受け、深い关心を寄せたそうです。太宗の美点は、自己の欠点をよく知り、諫臣の言葉をよく入れて、改めるべきことは速やかに改め、その直言を少しも怒らず、感情を害することもなく、逆に、直言してくれた者に必ず「特別ボーナス」を出した、という点に、太宗の特質がある。このことを「貞觀政要」率直に記している。現代のトップについては政治の世界はもちろん、企業経営者についても、その地位・権力はかつての専制君主のそれに比すべくもない。しかし、「経営者（政治家）がなさねばならぬ仕事は学ぶことができる。しかし経営者（政治家）が学び得ないが、どうしても身につけていなければならない資質が一つある。それは天才的才能ではなく、実は、その人の品性なのである」などというドラッカーの言葉を読むと、こういう点では昔もいまも全く変わりがないと思わざるを得ない。組織における問題は常に、上と下との関係、いわばリーダーとスタッフ、長と部下の関係がどうあるべきかという点だが、それが「守文（守り）」においてどう機能すべきかにあるという点でも、学ぶべきまことに適切な実例がある。

本書を読んで、「うちの社長が太宗のようであつたら」と思う社員も多いであろう。

・具体的に私が実務に参考にしたことを少しく述べます。「阿諱追従の徒」(人に気に入られようとして、お世辞を言ったり、へつらったりして機嫌を取る人)を完全に一掃した前提での話です。

1. 「安きに居りて危うきを思う」(やすきにおいてあやうきをおもう)

安泰なときや好調なときほど、将来の危機に思いを致して、いっそう気持を引き締めるということである。太宗が重臣たちに、「国を維持することは困難であろうか、容易であろうか」と尋ねたところ、側近の魏徵は困難であります。と答えた。魏徵はこう答えている。「今までの帝王をごらん下さい。国が危機に追い込まれたときは、すぐれた人材を登用し、その意見によく耳を傾けますが、国の基盤が固まってしまえば、必ず心に緩みが生じてきます。そうなると、臣下もあえて諫めようとしません。こうして国勢は日ごとに下降線をたどり、ついには滅亡に至るのでです。昔から立派な為政者が『安きに居りて危うきを思う』のは、そのためであります。国が安泰なときこそ、いっそう気持を引き締めて政治にあたらなければなりません。それで私は困難であると申し上げたのです」むろん太宗もこのことはよく承知していた。別の機会に、重臣たちを集めてこう語っている。「国を治めるときの心構えは、天下が安定に向かっているときこそ、もっとも慎重にしなければならない」。太宗と重臣たちは、常にこのような緊張感をみなぎらせて政治に当たったのです。

2. 「率先垂範、わが身を正す」

『論語』に、「その身正しければ、令せざして行わる」という有名な言葉があるが、トップが十分な説得力を發揮するためには、まず、みずからの身を正さなければならない。太宗はそういう点でも、深く自戒するところがあった。重臣たちにこう語っている。「君主たる者は、何よりもまず人民の生活安定を心がけなければならない。天下の安泰を願うなら、まず、みずからの姿勢を正す必要がある。私はいつもそのことに思いを致し、自戒の念を新たにしているのである」。太宗は、率先してみずからの姿勢を正すことにつとめ、二十四年間にわたる治世を乗り切っている。これもまた帝王学の要件の一つなの

である。

3. 「臣下の諫言に耳を傾ける」

『孔子家語』に、「良薬は口に苦くして病に利あり。忠言は耳に逆らいて行いに利あり」とあるが、部下の諫言に耳を傾けることも、帝王学の重要な要件である。太宗といえども、生まれながらの名君であったわけではない。臣下の諫言を積極的に受け入れ、彼らの批判に耐えることによって、みずからを大きく、たくましい人間に鍛え上げていったのである。このように折にふれて諫言を求めた結果、やがて諫言しようにも、諫言する材料がなくなっていましたらしい。しかし、そんな中でも太宗は諫言を求めてやまなかつた。あるとき魏徵に向かって、こう語りかけている。「近ごろ、臣下の中にとんと意見を申し述べる者が見あたらない。いったい、どうしたことか」魏徵が答えるには、「それは人それぞれに理由が異なっています。意志の弱い者は、心で思っていても、口に出すことはできません。また、地位に恋々としている者は、へたなことを口にしたらせつかくの地位を失うのではないかと、これまた積極的に発言しようとしません。皆がみな沈黙を守っているのは、そういう理由であります」太宗はこう語っている。「まことにお前のいう通りだ。私はいつもそのことを反省し、今後とも広く胸襟を開いて諫言を受け入れるつもりである。いらぬ心配などしないで、どしどし意見を述べてほしい」太宗ほど熱心に臣下の諫言を求めた君主はいない。諫言の道を広く開いておくことも、帝王学の重要な要件なのである。

4. 初心忘るべからず

太宗の治世は二十四年にわたっている。皇帝の在位としては特別に長かったわけではないが、決して短いとも言えない。トップの座についたときは、だれでもそれなりの緊張感を覚え、やる気を出して仕事に取り組む。しかし、五年たち十年たつうちに、しだいに気持が弛んでいく。太宗もそうであったらしい。いち早くそれを察知した魏徵は、貞觀十三年、長文の上書をもって苦言を呈している。「韓非子(かんぴし)」という古典に、「千丈の堤も蝼蟻(ろうぎ)の穴を以て潰ゆ」ということばがある。千丈もある高い堤防も、蝼(けら)や蟻の小さな穴が原因で決壊するのだという。『一言、國を興す』といわれますが、陛下のおことばは今なおこの耳に残っておりまして、忘れることができません。し

かしながら近年、徐々に初心が忘れられ、政治に純朴さが失われてきたように思われます。謹んでわたしの気づいたことをあげてみますと言つて太宗を諫めた。

5. 有終の美を飾らん

貞觀十六年、太宗が魏徵にたずねた。「見たところ、近世の帝王のなかには、子孫に位を伝えること十代の長きに及んだものもあればわずかに一代、二代に終わった者もあり、極端な場合は、自ら得た帝位を自ら失ってしまった者もいる。しかし、自分が行ってきた政治は自分自身ではわからぬものだ。どうか、その点について、そなたの腹蔵のない意見を聞かせてほしい。」魏徵が答えた。「喜怒の感情は、賢者も愚者も同じように持っております。しかし、賢者はそれをうまく押さえて、過度に発散させることはしません。ところが、愚者はそれを押さえることができず、結局は身の破滅を招くことになるのです。陛下は、このうえなく深いご聖徳をおもちになり、泰平の世にありながら、常に危難のときに思いをいたして、身を慎んでおられます。どうか、このうえは、いっそう自戒につとめられて、有終の美を飾られんことを願いあげます。さすれば、わが国は、子々孫々にわたって、長く陛下のご恩をこうむることになります。魏徵のことをかみ砕いて言えば、「我がままは許されませんぞ。こらえてください」ということに尽きるかも知れない。これで思い出されるのは山本五十六の「男の修行」です。山本五十六と言つても、今の若い世代にはほとんど馴染みがないかもしれない。かつて大東亜戦争で、連合艦隊司令長官としてアメリカと戦った昭和の名将である。その山本さんは、生前、求められると好んで揮毫したらしいが、その一つに「男の修行」と題するものがある。長岡の「山本五十六記念館」に掲げられているので、ご覧になつた方も多いかと思う。

男の修行

苦しいこともあるだろう 言いたいこともあるだろう 不満なこともあるだろう 腹の立つこともあるだろう 泣きたいこともあるだろう これらをじっと こらえてゆくのが男の修行である

この一文には、そういう男の思いがよくにじみ出ているではないか。山本さんはアメリカの実力を知り抜いていた。勝ち目の

ないことも承知していた。できれば戦いたくなかった。しかし、大命が下れば戦わざるをえない。そして戦い、南方洋上で散華した。トップとはなんでも思い通りになるよう見えて、実はそうではない。意外に窮屈なものである。それに耐えていくことによって人間も磨かれていくし、トップとしての責任も果たせるのである。このように「貞觀政要」には心に響く含蓄のある言葉がいくらでも出てくる。私はこれに関する本は3冊持つており、再建当時トップとしての言動として身に着け実行に努めていた。皆さんも是非読んでみてください。「貞觀政要」全十巻四十篇からなつておりかなり膨大であるので、各編集者によって全巻よりピックアップして編集されています。どの本をとっても必ずや心に響く(本から諫められている状況、緊張感がみなぎってくる状況)言葉が出てくると思います。そして人間力がついてくると信じます。

幹事報告

幹事 中村賢治

- ・4/27(木)親睦ゴルフが中山CCで開催されました。親睦委員会の皆さまありがとうございました。
- ・5/14(日)第6回青少年交換学生オリエンテーション開催。金杉君が出席予定です。
- ・5/12(金)理事会開催

委員会報告

次年度会長

君塚欣哉



4/29(土)地区研修協議会開催
対象の方はよろしくお願ひ致します。

正SAA

浅野正幸

5/1よりクールビズを開始します。
5/12の例会からネクタイ無しでの出席が可

能となります。

R財団委員会

委員長 安宅照男

ホーリオ基金への寄付は、引き続き受付しておりますので、ご協力の程、よろしくお願ひ致します。

親睦活動委員会

委員長 池田 建

久し振りの親睦ゴルフにご参加頂いた会員の皆さん、ありがとうございました。
5/18～19 の親睦旅行のご案内を配布いたしました。3ページ目に1日目の食事について記載がありますので、変更希望の方は5/5までにご連絡下さい。参加費は5/12までにお納め下さい。

お祝い

結婚記念日：杉山会員
夫人誕生日：上代幸枝様

例会行事 戰略計画委員会 幹事 中村賢治



本年度の話し合いの取りまとめとして
杉山委員長にお話し頂きます。

戦略計画委員会 委員長 杉山智基

今年度、杉会長の方針では戦略計画委員会を3回開催し、ビジョン2030、中長期計画の内容についての修正等が必要である場合は、委員会の中で議論し、理事会に報告する事としておりました。委員会は3回行いましたが、解決する事ができず、臨時の委員会も1月に開催しました。クラブ協議会では、皆さまのご意見を頂きました。現時点では、まだまとまっていませんが、中間報告として説明いたします。



第1回の委員会でビジョン2030に修正が必要かを、議論しましたところ、特段の修正は不要とまとまりました。しかしながら、会員増強の方法については、推薦から、理事会承認を経て、実際の入会までのプロセスについて、わかりづらい部分があるので、そのあたりの手順について整理する事とし、市原会員増強委員長を中心となって頂き、整理しました。入会手順については理事会に報告しましたが、定款・細則上と、実際の運用は乖離し、八千代RCの慣例があるのが実状です。その慣例等については、12月に行われた炉辺会談でもグループごとに、皆さまからのご意見を頂き、そのご意見も様々でした。考え方の違いによるものもあるのではないかと思慮致しました。

伝統と格式のある八千代RCには、歴史があり、沢山の会員がいて、更には現在も会員の増強について、徐々に新入会員に入会して頂いています。この状況をみれば素晴らしいクラブである事がわかります。戦略委員会の中でも、その様な話は縷々出ておりました。

今年の杉会長の方針の中に「unconscious bias」があります。無意識の偏見、無意識の思い込み、根拠のない思い込みという意味です。クラブ組織が発展(会員が増加)すると共に、異業種の会員も増えます。即ち多様性を受け入れる寛容性が必要になります。また、八千代RCは時代を読んでも迎合する事なく良いと思う事に沿って行動、進化していくと思います。そして画一的な会員ではなく多様性な価値を受け入れ一人一人がイキイキと活躍(進化)出来ると思います。みなさん、このことをイメージして下さい。そして考えて下さい。ロータリー活動において、良かれとおもって無意識に決めつけたり押しつけたりすること、即ち、自己中にならないようにお互に気を付けましょう。わたしも何度も読み返します。

しました。継続して安定している組織では、新しいことを受け入れたり、新しい方向に変化していく事に対して、いまのままが良いという考え方もあると思います。今、2023年を迎えており、社会は本当に大きく変わって、近い将来、空飛ぶ車が街中を飛ぶかもしれない時代になっています。スマホの使用や、SNSも当たり前になつて来て、新しいビジネスや産業がどんどん生まれています。時代が大きく変化している、産業革命と言つても過言ではないと思います。そのような時代の中で、ビジョン2030では、奉仕するという本来のRCの目的を達成する上で、なにが必要かを策定しました。八千代RCの場合、2030年に会員数を65名にしようという目標があります。3年が経過しましたが、65名にはまだ10名以上届いていません。前回の報告でも話しましたが、毎年3名の純増がないと、目標は達成しません。毎年3名の増加目標に対して、現状の様な慣例に沿って運用していて、果たして達成するのだろうかというのが、戦略計画委員会でのひとつの大きなキーポイントであると考えています。周りの他クラブと同じにする必要はないと考えますが、数年前のがバナーもRIの定款の中にあるように、地域の中で活躍している人材であれば、全ての人が会員の資格をもつているとおっしゃっていました。八千代RCとしても会員の選挙の方法については、細則に従って肃々と努めて進めていくのが良いのではないかと感じております。

6/2に戦略計画委員会を開催する予定となっておりますので、最終報告の形で理事会に提案させて頂ければと思っています。

会長 杉 崩

色々な活動の報告ありがとうございます。SDGsもそうですが、世の中に取り残しが無いようになっています。またLGBTの法案もこれからです。日本だけにその法案がない現状です。次年度の君塚年度でも、この件についても引き続き検討して頂ければと思っております。

委員長 杉山智基

第2回の戦略計画委員会は、SDGsについても議論しましたが、ロータリーの中

SDGsに関係する事項は既に皆さん行っているので、改めてビジョンに組み入れる事は必要ないのではという意見がありましたので、取り下げた経緯がありますが、こういった事も、時代がその様な流れになつていていますので、RCでも取り入れていく必要があると感じています。

ただし、会員の皆さんにも、それぞれの違った考え方や、ご意見があると思慮いたしますので、議論せずに物事を取り進めるという事は良い風習ではないと思います。議論を重ね、決まった事には皆さんで賛成していく組織文化が、伝統のある八千代RCにはもともとあると思いますので、是非議論を恐れず重ね、進化していく事を、会員皆さんで支えていく事が大切ではないかと考えます。

副委員長 君塚欣哉

杉山委員長からお話をあった、SDGsやLGBTなどについて、頭では理解しているものの、色々な場面で行動できるのか、受け入れられるのか、と悩む部分があります。その様な事も含めて、炉辺会談では昔からの歴史や流れを。またこれからのことについてはクラブ協議会で定期的に議論する機会を設ける事が必要ではないかと考えています。ビジョン2030の中でも、入会時の流れや手続きについても多様な意見がありますので、多数決で決めるのではなく、協議会を開催して、皆さまに意識してもらいたい、進めていく事が必要なのではないかと感じています。皆さまのご意見を頂きながらビジョン2030の活動をしてみたいと思います。

委員 市原正男



杉山委員長から入会手順をまとめるようにとの任を受け、とりまとめの上、クラブ協議会で皆さんに配布しました。概略としては、当クラブの入会手順は細則の13

條にある通り、全会員に協議を回覧し、異議がある場合は理事会に書面で申入れる事となっています、異議があった場合は次の理事会で協議し、承認されれば、次の理事会で入会となる、というルールになっていますが、八千代 RC の慣例と乖離しています。その件についてはこれまで議論が重ねられています。入会者に対して口頭で異議を伝えていた事もあると思いますが、ルールに基づいて適切に書面で提出して頂き、反対意見が適切であるかどうかの確認も必要ではないでしょうか。細則に則った運営をしていくのがよろしいと考えます。尚、幹事に推薦の書類が提出された時には、会員増強委員会にも推薦書を回して頂き、事前に審議する事(仮)としています。理事会に提出する前に、委員会で事前に予備審査的な段階を踏んでから、理事会へ提出する事としています。会員の皆さんで、再度内容を確認したい場合は、お声がけ頂きましたら資料をお渡ししますので、引き続き、ご審議の程、よろしくお願ひ致します。

委員長 杉山智基

戦略計画委員会では、杉会長から非常に重い課題を仰せつかいましたが、なかなか良いご報告が出来ず、申し訳なく思っています。2020年にこのビジョンを作った時には、具体的には載せませんでしたが、八千代 RC からガバナーを出そうという思いがあり、ガバナーを出すクラブにするにはどういう規模感で、どういうクラブであれば地区に出る事ができるのだろうかという事を感じておりました。鈴木憲輔会員が素晴らしいガバナーとして輩出されました。2030年までの間にガバナーを輩出できるようなクラブになって欲しいという思いでビジョンを策定したつもりです。そのような思いも皆さんと共有できればと思っています。6/2の戦略計画委員会では、皆さまからのご意見を改めて伺い

近隣クラブ例会日

火曜日	四街道R.C	例会場 四街道ゴルフクラブ
火曜日	八千代中央R.C	ヴィシュトンホテル・ユーカリ
水曜日	習志野R.C	習志野商工会議所会館
水曜日	佐倉中央R.C	第1ヴィシュトンホテル・ユーカリ第3夜間オルベート
木曜日	佐倉R.C	フランス料理 シエ・ムラ
木曜日	習志野中央R.C	習志野商工会議所会館

- クラブ広報委員会 委員長:田村隆治 副委員長:久土地 剛
- 出席委員長 山浦恭宏 ※欠席の際は必ず火曜日迄に出席委員長に連絡して下さい
- 例会日 金曜日 12:30~13:30
- 例会場 ハッソ・ノヴィータ (〒276-0049 八千代市緑が丘 1-1-1 公園都市プラザ 1F FAX047-450-0050)

最終的に理事会に提案できる最終報告を作つて今年度の活動とさせて頂きたいと思いますので、引き続き皆さまのご協力とご理解をお願いいたします。

～ニコニコ BOX～

¥ 8,000-

☆ 春の珍事、私儀親睦ゴルフコンペで優勝しました。グレイトな HC に感謝。 江口
 ☆ 久々に親睦ゴルフに参加し、会長賞を頂きました。楽しい一日でした、親睦委員の皆さまご苦労様でした。 齋藤敏夫
 ☆ 杉山会員よろしくお願いします。 君塚
 ☆ 連休しました。 中島 仁

～友愛 BOX～

¥ 39,000-

☆ 結婚記念日のお祝いありがとうございます。何年経ったか忘れてしまいました。 杉山

☆ 妻の誕生日に

お花をありがとうございました。上代
 ☆ 戰略計画委員会宜しくお願ひします☆
 朝戸・山浦・菊川・日下部・江頭・杉
 浅野正敏・中村

☆ 親睦ゴルフ参加の皆さま

有難うございました。 池田
 ☆ 親睦ゴルフでオネスト優勝しました。 植村
 ☆ 親睦ゴルフで準優勝しました。

親睦委員会の皆さん、参加の皆さんお疲れ様でした。 中島貞好

☆ 親睦ゴルフで3位になりました。 宮野

☆ 親睦ゴルフお疲れ様でした。

ブービー賞頂きました。 花島

☆ 親睦ゴルフ参加頂いた会員の皆さんありがとうございました。親睦委員会の皆さんお世話になりました。 中村

☆ 親睦ゴルフお疲れ様でした。

楽しいゴルフが出来ました。 佐久間

☆ 久し振りに暖かい日になりました。 渡邊

☆ 休みがちですみません。 鈴木

☆ 暑いです。 三井

☆ 本日早退します。 安宅

	会員 総数	出席 対象者	出席者	%
協議 4 / 28	5 4	4 8	4 0	83.33

5月のロータリーレート 1ドル ¥ 1 3 6 -